

経営改善計画書

1 現状における問題点の把握(現状の問題点を具体的に)	
昨年度は400万円の経常損失を出しており、売上が減少している現状では、経費の圧縮を行わない限り、赤字体質から抜けきれない状態である。また、昨年C銀行から借り入れた資金を含め、月返済額が100万円（年間1200万円）になっており、この返済負担が大きい。	
2 問題点に対する改善計画概要(いつまでに何をどうするか。)	
まず、経費圧縮を行うため、人件費・役員報酬・その他の販管費を2年かけて徐々に削減する予定である。また、資金繰りを良好にするため長期の運転資金を借り入れ、旧債務を返済することで、2年後の月額返済を半分以下にする予定である。	
3 具体的改善策(計画概要を部門ごとに具体化する。)	
① 製品(商品)等について	新製品(商品)の開発、不採算製品(商品)の生産等の縮小・撤退等
- 新規受注獲得のため〇〇分野のメーカーに対し営業展開を行う。 - 最近マーケットが広がっているシニアニーズへの対応のため商品の仕入先を新たに開拓する。	
② 人件費等について	過剰人員の削減、役員報酬の削減、人材の育成等
- 売上原価に係る労務費を年間1300万円から1200万円に削減する。 - 今期従業員賞与の削減を行う。パート従業員を1名削減する。 - 今期役員報酬を700万円に、来期600万円に削減する。 - その他の販管費のなかで、広告宣伝費・交際費・雑費を併せて100万円削減する。	
③ 設備等について	新鋭機械・IT機器等の導入による効率化等
今回の改善計画においては、収益を改善し資金繰りを良好にすることを目的としているため、新規の設備導入は計画していない。	
④ 資金繰り等について	仕入れ・販売条件の見直し、遊休資産の売却等
借り換え制度を利用し、1400万円の資金を調達することで、B銀行からの債務（福井市小規模事業者サポート資金）残750万円を借り換え、来期からの月返済額を42万円（年間500万円）にする。	